

# 「自社に合った」バックオフィスDXの進め方を考えるワークショップ

～“何から始めるべきか分からない”を整理する～

経営者、総務・管理部門、情報担当者など、自社に合ったDXの進め方を整理したい方必見！

本ワークショップでは、「どのツールを導入するか」ではなく、「自社に合ったDXの進め方」を整理することを目的に、バックオフィス業務（販売管理・在庫管理・勤怠管理・情報共有・日報管理など）の現状整理・課題の見える化・優先順位付けを行います。また、中小企業でよくある、「社内のIT担当が1人」・「DX担当が兼任」といった状況も踏まえ、現場の声を聴きながら、自社に合ったDX人材・推進方法についても考えていきます。

ワークショップでは、少人数グループ形式で、他社の取り組みや悩みも共有しながら、「自社は何から取り組むべきか」を整理していきます。

まずは、「今困っていること」を整理し、自社に合った「次の一歩」を見つけることから始めてみませんか？

## 2026年7月30日（木） 13:00～16:00

### @京都銀行 京銀デジタルコネクト左京

定員

先着6名さま  
(一社一名限定)

受講料

お一人さま 3,000円  
(消費税込)

申込締切

2026年7月28日(火)

持ち物

ノートPC

申込方法

京都銀行のホームページよりお申込みください。  
<https://www.kyotobank.co.jp/houjin/seminar/>



参加対象

従業員20～100名程度の中小企業の経営者、総務・管理部門、情報担当者さま  
まずは自社の課題整理から始めたい企業さま

※同業他社・土業の方のお申込み等はお断りさせていただく場合がございます。

## 13:00-13:40 1. セミナー 「【自社に合った】バックオフィスDXの進め方とは？」

- ・ 中小企業におけるDXの現状と課題
- ・ 一人情シス・DX兼任担当者のリアル
- ・ 課題整理・優先順位付けの考え方
- ・ “自社に合ったDX” を考えるポイント
- ・ なぜバックオフィスDXから始めるのか？
- ・ DX推進で本当に必要な人材とは？
- ・ 生成AIを活用した業務整理・改善の考え方

## 13:40-14:30 2. ワークショップ① 「自社課題の共有・整理」

少人数グループに分かれ、参加企業同士で意見交換を行いながら、自社のバックオフィス課題を共有していきます。

- 【ワーク内容】
- ・ Excel・紙業務・属人化など、日々感じている悩みを共有する
  - ・ 他社はどのような課題を抱えているかを共有する

## 14:30-14:40 休憩

## 14:40-15:40 3. ワークショップ② 「課題の優先順位付けと次アクション整理」

ワークショップ①で共有した課題をもとに、講師からのアドバイスや他社事例を踏まえながら、「何から取り組むべきか」や「自社に合ったDXの進め方」を整理していきます。

- 【ワーク内容】
- ・ すぐ取り組めること・将来的に検討することを整理する
  - ・ 自社に合ったDXの進め方を検討する
  - ・ 次に取り組むべきアクションを整理する

## 15:40-16:00 4. 全体共有・まとめ

メイン講師 京なかGOZAN 桂田 佳代子(京なか株式会社 代表取締役)  
講師 京なかGOZAN 桑原 人司 (株式会社システム創見 代表取締役)  
講師 京なかGOZAN 大伴 英雄 (エイジシステム株式会社 取締役) 他

《経歴》

地域企業のIT活用・DX支援に多数携わり、各種セミナー・ワークショップ登壇実績を持つ。「地域密着型で、お困りごと(=課題)をITで解決する」をミッションに、ITよらず相談から業務改善・システム導入・生成AI活用支援まで幅広く対応している。また、地域企業のDX推進活動が評価され、生成AIの社会実装を目的に経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトが『GENIAC-PRIZE』地域賞を受賞。

## 講師紹介

## アクセス

お問い合わせ先

京都銀行 京銀デジタルコネクT左京

〒606-8226

京都市左京区田中飛鳥井町64

☎075-366-5330

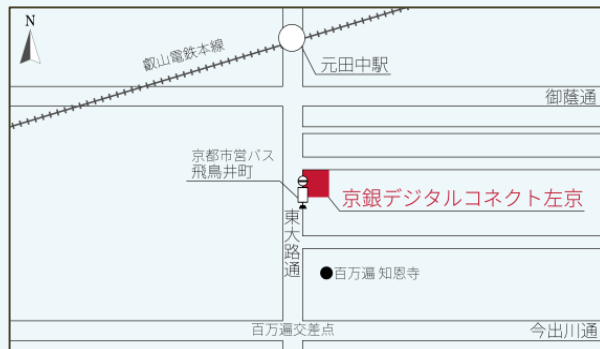
平日10:00-16:00

(※ただし、銀行休業日は除きます。)

アクセス

【電車】叡山電鉄「元田中」駅下車、徒歩約4分

【バス】京都市営バス「飛鳥井町」下車、すぐ



※申込フォームにご入力いただきましたお客さまの個人情報は、本イベントの主催者・講師と共有するとともに、主催者の業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。京都銀行の個人情報の取扱いについては、当行ホームページの「プライバシーポリシー」をご確認ください。